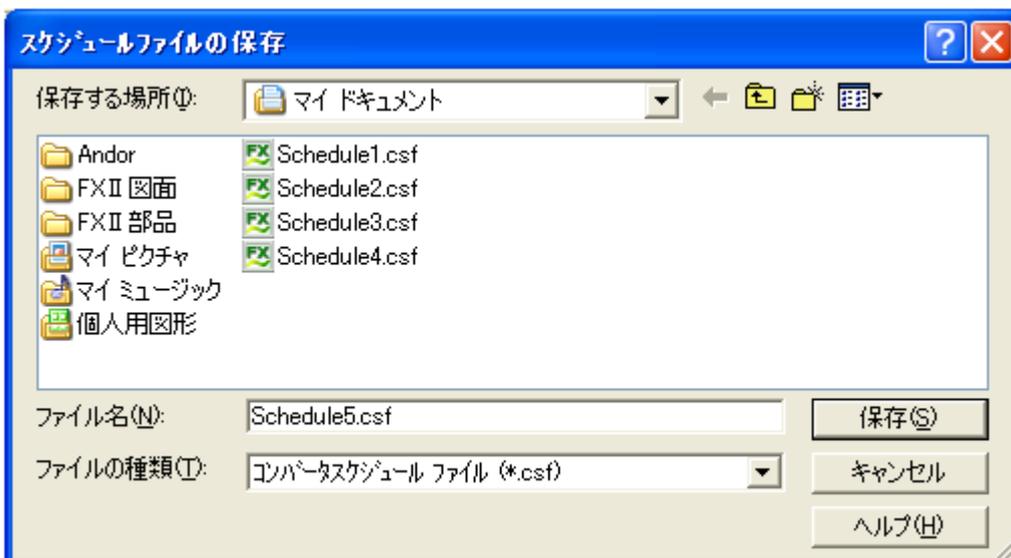


## FXIIコンバータ閉じるときのスケジュールファイルとは

FXIIコンバータでは、変換ファイル情報をスケジュールファイルとして保存しておくことができます。

スケジュールファイルに記録された変換ファイル情報はいつでも読み出して変換作業を行うことが可能なので、同じファイルに対して様々なパラメータ設定の変更を試したり、変換ファイルの管理を一元化したりすることができます。

スケジュールファイルには、変換元・変換先ファイル名、パラメータファイル名が登録されます。登録されたスケジュールファイルは、[\[スケジュールファイルの読み込み...\] コマンド](#)（[\[ファイル\] メニュー](#)）及び [\[ファイル名 1, 2, 3, 4... 10\]](#)（[\[ファイル\] メニュー](#)）で読み出すことができます。

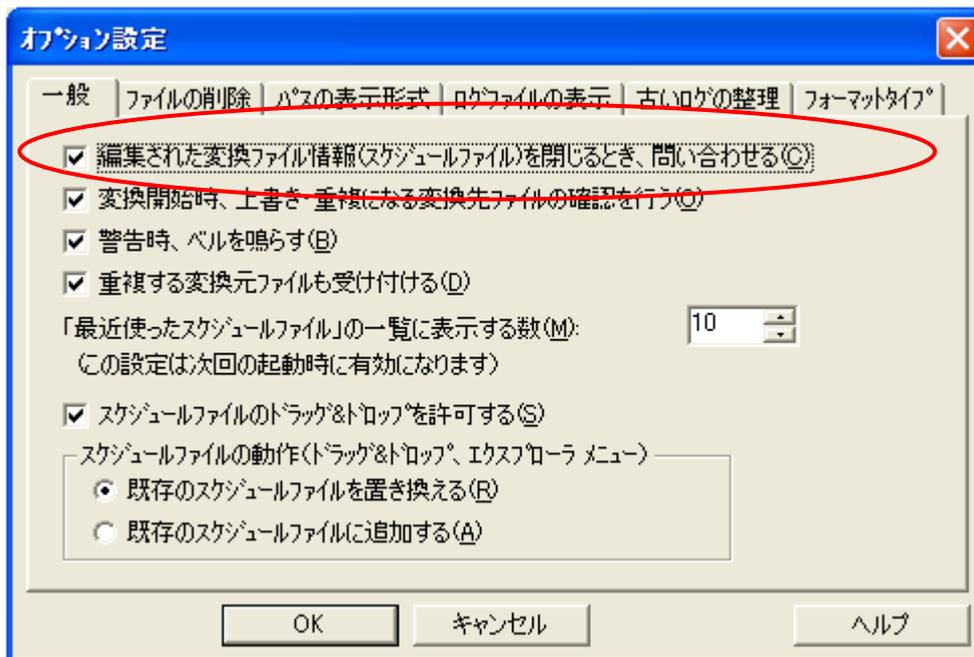


FXIIコンバータは、スケジュールファイルをドラッグ&ドロップで受け付けることもできます。スケジュールファイルのドラッグ&ドロップについての動作は、[\[オプション...\] コマンド](#) [\[一般\]](#) [ページ](#)で変更できます。

また、スケジュールファイルは、Windows システムに拡張子 **.csf** として登録されているので、エクスプローラ上でのダブルクリックや、ショートカットメニューの「開く」により、FXIIコンバータを立ち上げてスケジュールファイルを読み込ませることもできます。

## スケジュールファイルを閉じるときに問い合わせしないようにするには

FX II コンバータ (詳細版) のメニューより [オプション...] コマンドー [一般] ページにより変更することができます



赤く囲まれた箇所のチェックを外して、OK ボタンをクリックします。

以降「スケジュールファイルを保存しますか」との問い合わせメッセージが出なくなります。